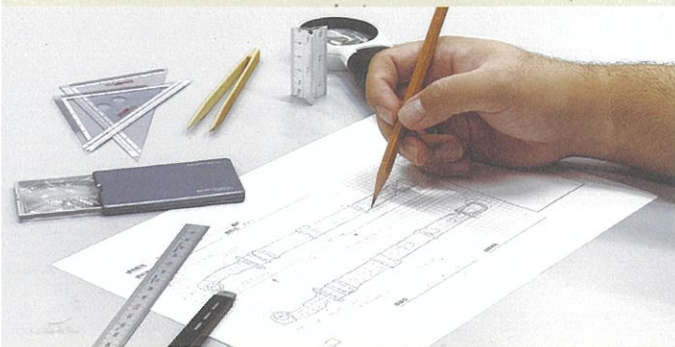




衣服(木綿)



国立アイヌ民族博物館 第7回テーマ展示

収蔵資料展

国立アイヌ民族博物館 特別展示室

休館日/毎週月曜日

2024.12.14 SAT → 2025.2.16 SUN

※月曜日が祝日または休日の場合は翌日以降の平日が休館日になります。

※年末年始の6日間(12月29日(日)～1月3日(金))は休館します。1月13日(月)、2月10日(月)、2月11日(火)は開館。1月14日(火)は休館。



アベフチカムイ(作:貝澤徹)



NATIONAL AINU MUSEUM
国立アイヌ民族博物館

主催: 国立アイヌ民族博物館 後援: 公益社団法人北海道アイヌ協会



収蔵資料展

国立アイヌ民族博物館は、「先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外のアイヌの歴史・文化に関する正しい認識と理解を促進するとともに、新たなアイヌ文化の創造及び発展に寄与する」という理念のもと、アイヌ文化関連の資料を調査しています。

当館は約1万点のアイヌ文化に関する資料を収蔵しています。アイヌ民族文化財団資料(寄贈資料含む)、保管委託資料(文化庁購入資料)、寄託資料で構成され、資料を収集すると共に、これらを後世へ伝えるための保管に関する活動も行なっています。

本展覧会では、当館収蔵資料や複製を手にとる展示を通じて、収集や保管など博物館の「裏側」のしごとを紹介する企画としました。関連イベントと合わせ、アイヌ文化に関する資料を次世代につなぐ取り組みをご覧ください。

収集

さがす

様々なアイヌ民族関連の資料を収集し、公開できるよう整理します。

あずかる

文化財として、後世へ伝えるために資料の保管と展示等への活用を行います。

みせる

見どころとなる資料を公開します。



収集したイタ

保管

まもる

安全な資料の保管のため、劣化要因を制御し安定した空間を作ります。

みる

科学分析で資料の状態を診断し、目には見えない損傷の予防や備えをします。

つたえる

調査研究や展示などで活用できるよう、資料の状態改善に努めます。

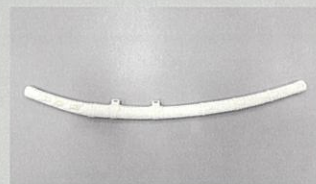


X線CTの撮影直前の様子

活用

さわる

複製を手にとる展示を通じて資料形状の雰囲気を感じます。



製作中の模型の様子

関連イベント

詳細はウェブサイトをご覧ください。

12月14日(土)14:00(30分)

学芸員なりきり体験
展示室でお話をきいてみよう①

1月18日(土)14:00(80分)

学芸員なりきり体験
博物館の裏側をみてみよう①

事前
申込制

12月21日(土)14:00(30分)

学芸員なりきり体験
展示室でお話をきいてみよう②

2月1日(土)14:00(30分)

学芸員なりきり体験
展示室でお話をきいてみよう③

1月11日(土)14:00(60分)

学芸員なりきり体験
資料調書をかいてみよう

事前
申込制

2月15日(土)14:00(80分)

学芸員なりきり体験
博物館の裏側をみてみよう②

事前
申込制

休館日

月曜日(祝日または休日の場合は翌日以降の平日)
※年末年始の6日間(12月29日(日)~1月3日(金))は休館します。
1月13日(月)、2月10日(月)、2月11日(火)は開館。1月14日(火)は休館。

料金

民族共生象徴空間(ウポポイ)の入場料でご覧いただけます。
※国立アイヌ民族博物館の観覧料は、民族共生象徴空間(ウポポイ)の入場料金に含まれます。

●民族共生象徴空間(ウポポイ)入場料(税込)

	個人	年間パスポート
大人	1,200円(960円)	2,000円
高校生	600円(480円)	1,000円
中学生以下	無料	

*()は20名以上の団体料金。*障害者とその介護者各1名は無料です。入館の際に証明書等をご提示ください。*入場予約方法や最新の情報は、ウェブサイトからご確認ください。

アクセス

北海道白老郡白老町若草町2丁目3-1
札幌から約1時間、新千歳空港から約40分

- 乗用車…白老インターから車で約10分
- 電車…JR白老駅から徒歩約10分

電車を利用してウポポイへご来園の方は、「白老町交流促進バス」のご利用が便利です。

詳しくは特別展示ウェブサイトへ

<https://nam.go.jp/exhibition/floor2/special/shuzoshiryo2024/>
For more information on the special exhibition,
please visit our website.



NATIONAL AINU MUSEUM
国立アイヌ民族博物館



ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and BRAE
民族共生象徴空間

国立アイヌ民族博物館は
民族共生象徴空間
(愛称「ウポポイ」)内にあります。

